

NEWS RELEASE

あべのハルカスでのブロックチェーン技術を活用した 仮想地域通貨「近鉄ハルカスコイン」の社会実験を実施

～ KIPS 会員から5000人の参加者を募集し、約200店舗で実施します。 ～

近鉄グループホールディングス株式会社（本社：大阪市天王寺区、代表取締役社長：吉田 昌功、以下「近鉄」）と株式会社三菱総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：森崎 孝、以下「MRI」）は、フィンテックの核心技術であるブロックチェーン技術を活用した仮想地域通貨「近鉄ハルカスコイン」の社会実験を、平成29年9月1日から「あべのハルカス」で実施します。

今回の社会実験は、近鉄とMRIが仮想地域通貨を発行するための新たなプラットフォームを構築するための第一ステップとして、ブロックチェーン技術を活用したシステムの技術的検証や、社会実装に向けた運用課題の抽出等を行うために実施するものです。

今後、近鉄では仮想地域通貨の発行機能と円や他の仮想通貨と交換できる取引機能とをあわせ持ち、自治体や他の企業等との連携も視野に入れながら近鉄沿線にさまざまな仮想地域通貨を展開していくことで、近鉄グループの各事業の強化とお客様や店舗の利便性向上に繋がる新たな沿線活性化モデルの実現を目指します。

MRIでは社会実験の成果をもとに、近鉄と共同でブロックチェーン技術に経済成長を促す仕組みを実装した地域創生に資するイノベーションプラットフォームの確立を図ります。さらに、このプラットフォームを近鉄沿線以外の自治体等にも積極的に提供していきたいと考えています。

また、近鉄ハルカスコインを活用した新しいサービスの提供やお客様の利便性向上に関する検討については、近鉄とMRIに加え、株式会社三菱東京UFJ銀行とも協力し進めていきたいと考えています。

近鉄は、今後も最新のテクノロジーを積極的に取り入れ、お客様への新しいサービスの提供や利便性の向上を実現し、沿線の活性化につなげていきます。

社会実験の概要は以下のとおりです（詳細については別紙参照）。

1. 発行者 近鉄グループホールディングス株式会社
2. 実施期間 平成29年9月1日（金）から同年10月1日（日）まで
3. 実験参加者 KIPS会員のWeb申し込みによる抽選（募集人員5000人）
4. 実験店舗
 - ・近鉄百貨店あべのハルカス近鉄本店（全体で約200店舗）
 - ・展望台「ハルカス300」（入場券、展望台内店舗）
 - ・あべのハルカス美術館（入場券）
5. 通貨発行 現金5,000円に対し10,000コインを発行（1コイン=1円相当）



以上

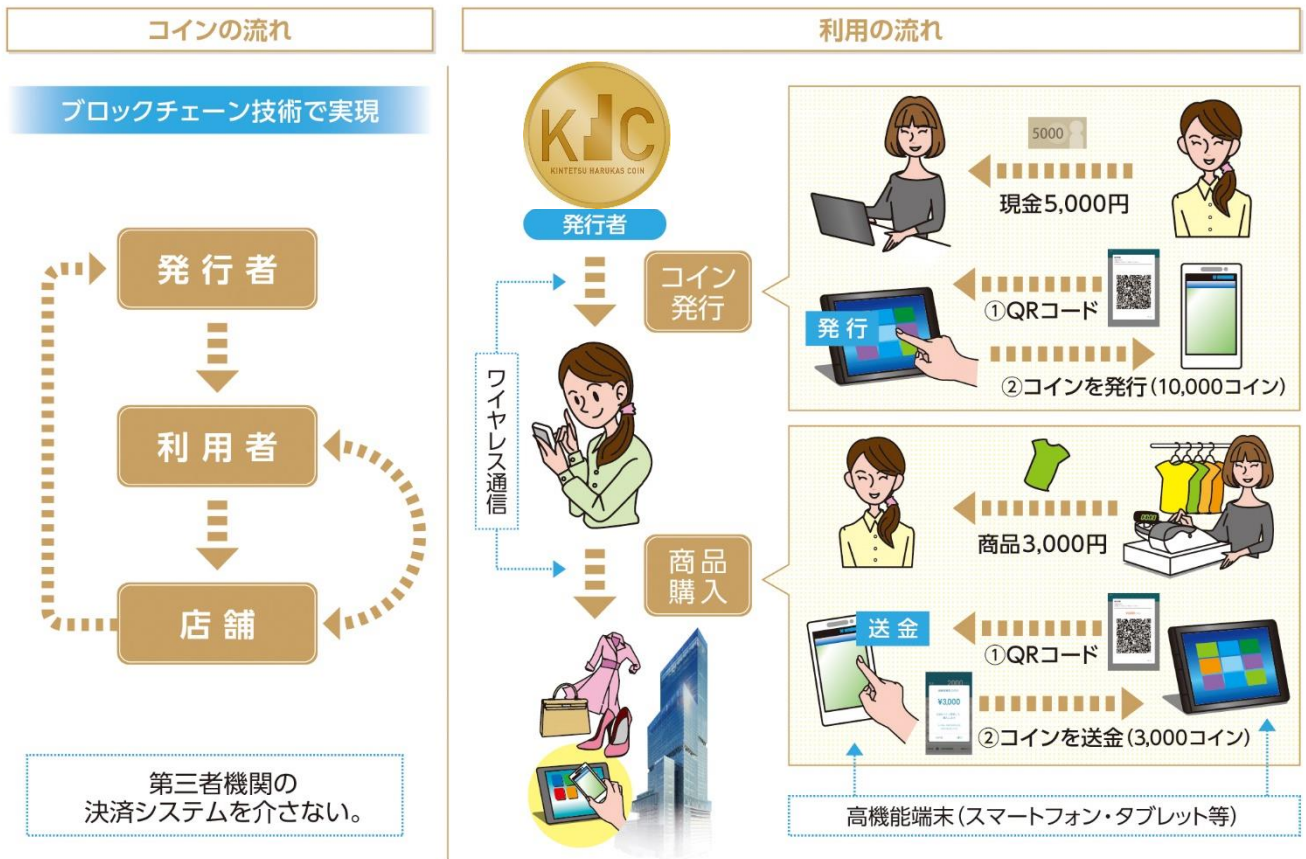
別紙

1. 社会実験の概要（詳細）

- (1) 通貨名称 「近鉄ハルカスコイン」
- (2) 実施期間 平成29年9月1日（金）から同年10月1日（日）まで
- (3) 実験参加者 KIPS 会員から 5,000 人を募集
※ KIPS 会員の会員 Web からの申し込みによる抽選となります。
※ 募集期間中にお申込みし、KIPS 会員に入会された方も対象となります。
- (4) 実験店舗
・近鉄百貨店あべのハルカス近鉄本店
・展望台「ハルカス300」（入場券、展望台内店舗）
・あべのハルカス美術館（入場券）
※ 約200店舗を予定。
※ 具体的な店舗については決まり次第お知らせします。
- (5) 利用方法 実験店舗での通常の商品お買い上げ時に、店舗のタブレット端末に表示される商品購入内容のQRコードを、お客様のスマートフォンで読み取り、お客様がタブレット端末に「近鉄ハルカスコイン」を送金して、支払い（モバイル決済）を行う。
- (6) 募集期間 平成29年6月15日（木）から同年7月14日（金）まで（予定）
※ 7月中旬以降に当選者には会員登録メールにお知らせします。
- (7) 通貨発行 現金 5,000 円に対し 10,000 コインを発行（1 コイン=1 円相当）

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

2. 近鉄ハルカスコインのイメージ



※ 実験店舗で利用するタブレット端末は、株式会社NTTドコモが提供しています。

《支払い画面イメージ》



【店舗タブレット】
商品情報のQRコード表示



【お客様のスマートフォン】
QRコードを読み取った後の画面

3. 応募から実験当選・お買い物までの流れ

